

## <スクールアルバム>

ノアの箱舟の工作



リトリート (小学部)

ノーフ大会 (生徒 vs 先生 勝敗は?)



リトリート (中高等部)  
月井校長が洗足してくださいました



スクールの農園で初めて採れたかぼちゃ  
山神先生がパイを作ってくれました!



デンマーク体操 (リズムによって全身体操)



みんな集合!



### お願い・ご報告

- 緊急事態宣言の中でしたが、2日間のスクールリトリートなど、9月のスクールの活動、行事等は、祝福の中で行われました。お祈り、ご協力に感謝します。
- 本校では、新型コロナウイルス感染防止対策に努めて、通常授業を行っていきます。ご家庭に置かれましては、引き続き、毎日、健康観察カードにて、必ず健康チェックと検温をしてください。風邪症状など具合の悪い時は、無理に登校しないで、様子をスクールにご連絡ください。ご家族に発熱などの体調不良があるときは、登校を控えるようご協力をお願いします。また、登校時、マスクを忘れずに着用、持参してください。学校でも家庭でも、手洗いうがい、手指の消毒などをしっかり行いましょう。今後の新型コロナウイルス感染の状況によっては、スクール活動において、急な変更もあるかと思いますが、ご理解・ご協力をお願いします。一日も早い収束を祈り、一人ひとりが感染防止に努めていきましょう。

### 今月のみことば

今月の暗唱聖句は、

**「まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。」(マタイ6:33)**

です。英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

### 祈禱課題

1. 一人ひとりが無条件で愛されている尊い存在であることを知ることができますように。
2. スクール関係者のすべてのご家庭に豊かな祝福がありますように。
3. スタッフが神から知恵をいただき、愛と喜びをもって指導していけますように。
4. 学童部門が豊かに祝福されますように。



# のあインターナショナルスクール スクール通信 10月号

21.Oct. 1

VOI.173

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

## 「ノアは神と共に歩んだ」

小学部主任 荒木かおり

夏休みが明けて1か月が過ぎました。新型コロナウイルス感染が拡大する中で再開された学校生活がここまで守られたことに感謝をもって振り返りたいと思います。一つは、新しい祈りの取組みについて、もう一つはリトリートについてです。

夏休みに入る直前の特別学習期間、生徒たちは縦割りグループに分かれて、将来のスクールの姿を思い描き、スクールのビジョンを模造紙に描きました。「みんなでこんな活動をしたい。こんな教室があったらいいな。〇〇〇人の生徒がいたらいいな。」たくさんの自由な思いが言葉や絵となって模造紙に描き出されました。この活動に先立って、生徒たちは、スクールの17年間の歴史を学び、スクールの生徒、先生、建物、環境そのすべてが、神さまが祈りにこたえて与え、建て上げてくださったものであることを知らされていまして、夏休みが明けたところで、このビジョンを具体的に祈っていこうという取組みを始めました。各クラスに4色の祈りの紙(小学校低学年はビー玉)を置き、願い(赤)、悔い改め(青)、感謝(黄)、決意(緑)と祈りの内容に合わせてそれぞれの色紙に祈りの言葉を書いて、瓶に入れていくというものです。生徒たちは、今日は何色の祈りをしようかな、まだあの色の祈りはしたことがないな、など、積極的に祈り始める姿が見られています。生徒たちが祈った祈りがどのように実現していくか、まだ何も分かりませんが、この祈りを喜んで聴いてくださっている天の父なる神さまが、祈りにこたえてくださることを生徒たちが驚き喜びながら体験できることを楽しみに期待しています。

二つ目の大きな行事は、リトリートです。9月23日、24日、本郷台教会ダイヤモンドチャペルで行われました。リトリートとは、日常の学校生活、授業を離れて、聖書を読み、仲間と親しむことや自分自身と向き合うことを通して、神さまの視点から自分自身を知るプログラムです。この二日間、レクタイムや遊びを通して、これまで以上にお互いを知り合い、生徒同士だけでなくスタッフとも一体感が強まったことを感じる祝福に満ちた時でした。また豊かな讚美の時間も本当に素晴らしい時でした。

メインのプログラムでは、小学5年から高校生までが、月井校長から聖書のメッセージを聴き、先生たちとペアになってじっくりと分かち合う時間を持ちました。そのプログラムと並行して、小学1~4年生は小学部の特別プログラムで活動しました。私は小学部を担当しましたので、ここではその様子をお伝えしたいと思います。

小学部プログラムでは、旧約聖書の創世記6~9章に記されている『ノアの箱舟』の物語を味わいました。ノアとは、スクールの名前にも冠されている代表的な聖書の登場人物です。創世記では、地上に人々の悪が増大したために、神さまは人間とすべての生き物を滅ぼそうと大洪水を起こされます。しかし、ノアとその家族、そして地上のあらゆる生き物が一つがいつつ大きな箱舟に入れられて、世界の滅亡から救い出されるという壮大な物語です。生徒たちは、信じられないほど大きな使命にノアが従い、神さまの救いのご計画を信頼し尽くした姿から、彼が「神と共に歩んだ人であった」(創世記6:9)ことを学びました。神さまを信頼し、神さまと共に歩むことは、何事も起こらないわけではありません。時には荒波にもまれ、大洪水にあうかもしれないけれど、神さまは必ず私たちを確かな救いの舟に乗せて想像もしなかった大きな使命を実現してくださいます。小学生たちは、彼らに託されている大きな使命にワクワクしながら、神さまの素晴らしさを工作活動と聖書新聞作りを通して楽しんで学びました。

## 10月のカレンダー

日	月	火	水
3日	4日	5日	6日
	← 3限授業 昼食無し(12時30分下校)*水曜日は12時10分下校 →		
10日	11日	12日	13日 後期始業式(1限)2限～通常授業・ 昼食開始(1限と4限入れ替え) フェスティバル準備会
17日 本郷台駅前 フェスティバル (14時～17時)	18日	19日	20日 合同礼拝(4限)
24日	25日 フリースクール見学会 Sさん誕生日	26日 (10時～11時30分)	27日 学部別礼拝(4限)
31日			

- ・1日(金)～8日(金)は前期終業に向けて3限授業になります。1日(金)は昼食ありで、12時50分下校、4日(月)～8日(金)は、昼食なしで、12時30分下校となります。(但し水曜日は12時10分下校)
- ・8日(金)、1、2限は授業、3限は前期終業式(礼拝)を行います。中高生は標準服、小学生は式にふさわしい服を着用してください。式の後、暗唱聖句の発表があります。その後、清掃、HRをして、下校です。なお、HRで、学習の成果や生活の様子をお知らせする「あしあと」(小学生)、「フットプリント」(中高生)をお渡しします。各ご家庭にて保護者の皆さまは必ず目を通してくださるようお願いいたします。
- ・9日(土)～12日(火)は、秋休みです。
- ・13日(水)、1限に後期始業式(礼拝)を行います。中高生は標準服、小学生は式にふさわしい服を着用してください。2限から通常授業、昼食も開始です。(1限と4限を入れ替えます。)
- ・15日(金)2限、保育園と合同で消防訓練を行います。栄消防署上郷出張所から消防署員1名が来校しご指導していただきます。
- ・17日(日)14時～17時、世界食料デー 横浜大会のイベント「本郷台駅前ふれあいフェスティバル」が行われます。スクール生は、ゲームや出店ブースなどでボランティアとして協力します。それに伴い、13日(水)の奉仕総合の時間にフェスティバル準備会をします。フェスティバル当日の詳細は、後日お知らせします。ご協力をお願いします。
- ・25日(月)、26日(火)、28日(木)10時～、フリースクール見学会を行います。公立学校関係の方々や関心のある方々がスクールに来られます。これは県教育委員会の主催で、9月から11月にかけて、横浜地区の公立学校と民間のフリースクールが連携して行うものです。本校を紹介したい方がありましたらぜひご案内ください。(3日間とも同じ内容です。)
- ・29日(金)12時～14時30分、「のあインターナショナルスクール“運動会”」を行います。一昨年までは、保育園と合同で6月に大規模に行っていましたが、コロナ禍での開催が難しくなり昨年の実施はありませんでした。



木	金	土
	1日 3限授業 昼食あり(12時50分下校)	2日
7日	8日 授業終了 前期終業式(3限)	9日
	← 秋休み(9日～12日) →	
14日	15日 消防訓練(2限) 委員会活動	16日
21日	22日 クラブ活動	23日
F先生誕生日		
28日 フリースクール見学会 (10時～11時30分)	29日 運動会(12時～14時30分)	30日

今年度は、生徒実行委員会を中心に、スローガン「trust in (信じる)～チームで仲良く、協力して最後まで楽しもう～」とし、規模を縮小してスクールのみで実施します。ご家族の参加はできませんが、楽しい時となるよう祝福をお祈りください。詳細は後日お知らせします。

- ・10月中旬、身体測定があります。

### スタッフコラム

私の父はこの7月に80歳を迎え、お祝いのため、私の4人の兄弟とその家族は南カリフォルニアに集まりました。父の特別な日をお祝いするために家族が集まるというのは貴重な機会でしたが、5人兄弟のうち私だけが直接お祝いに行くことができませんでした。兄弟家族が集まっている時、私はテレビ電話を繋いでお祝いしたのですが、父を見るだけで幸せそうなのがわかりました。しかし彼は会話の最後で、「私の子どもたちがこのように集まってお祝いしてくれて、今日は人生の中で最高に幸せな日だ。もうこれ以上願う事なんてないよ。でもあなたがここにいてくれたらよかったんだけどね…」と言いました。両親は異国の地で子どもに最善を尽くすために生活すべてを捧げ、愛してくれました。私はその子どもとして、両親には感謝してもしきれません。

このことを思ったとき、天のお父さんと子どものことを思わされました。

**神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。ヨハネの福音書3章16節**

これは天のお父さんに属するすべての人に対して表してくださった愛と犠牲です。そしてそのお父さんの最高の喜びは、子どもたちがお父さんのことを一緒にお祝いするために集まることなのです。私は神さまの子どもとして、スクールに来て、礼拝や、祈りや、共に学ぶこと、そして神の家族を共に築いていくことを通して、父なる神さまに栄光をお返しすることができるのは喜びです。そして神さまの成してくださったことを喜ぶ子どもの姿を見ることは神さまにとってどれほどの喜びでしょうか。私は神さまの家族として、毎日神さまの名を祝福し続けることができるように祈ります。

英会話担当 K・S

